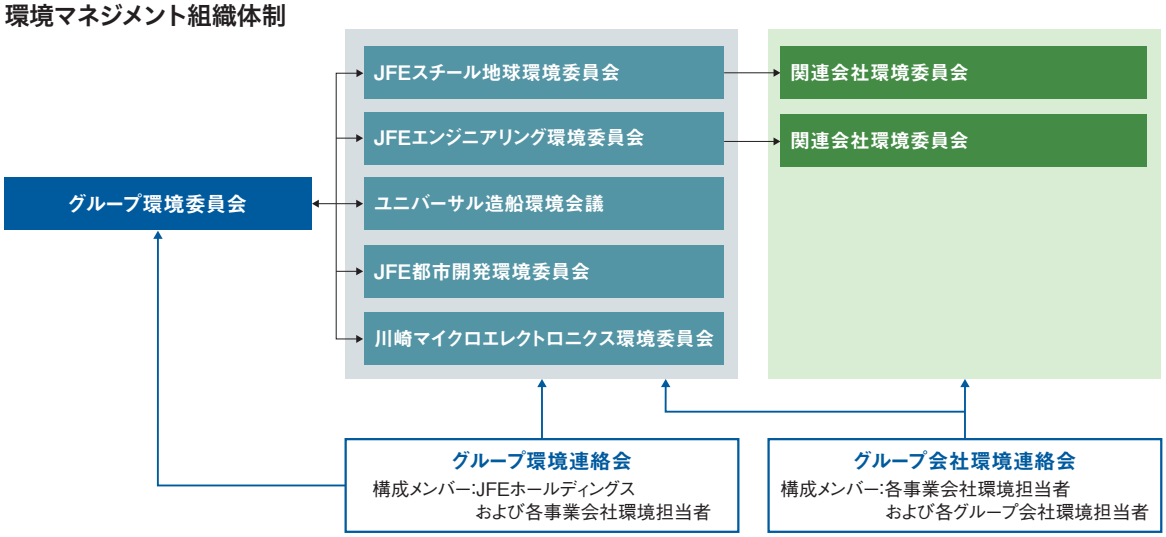
環境マネジメント体制

環境マネジメント体制の構築・運用状況

JFEグループは、「グループCSR会議」のもと、JFEホールディングスの社長を議長とする「グループ環境委員会」を設置するとともに、事業会社・関連会社にも「環境委員会」を設置し、環境目標の設定、達成状況のチェック、グループ全体の環境パフォーマンス向上など、環境に関する諸問題の解決に取り組んでいます。

環境マネジメント組織体制



環境会計

2009年度は、環境関連設備投資額が306億円、費用は904億円で、全設備投資に占める環境関連設備投資の割合は約18%です。なお、2009年度の活動の結果、省エネルギー効果は金額換算で8億円と見積もっています。

省エネルギー投資累計額

（億円）

主な内容			投資額	費用額
自社の業務に関わるもの	マネジメント	環境負荷の監視・測定、EMS関連、環境教育・啓発など	2	24
	地球温暖化防止	省エネルギー・エネルギー有効利用など	136	236
	資源の有効活用	工業用水の循環、自社内発生物のリサイクル、廃棄物管理など	119	182
	環境保全	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下の防止	44	380
	その他	賦課金など	—	15
お客様や一般社会の活動に関わるもの	研究開発	環境保全・省エネルギー・地球温暖化防止のための技術開発	5	61
	社会活動	自然保護・緑化活動支援、情報公開、展示会、広報など	—	6
合　計			306	904

ここに掲載している環境会計は以下の考え方に基づいて算出しています。
対象期間：2009年4月～2010年3月
集計対象：コストは、JFEの製鉄所における環境関連投資および費用。ただし、研究開発については全社分としています。
※ 効果については推計に基づく「みなし効果」や「リスク回避効果」などは算定していません。
※ プロセス全体が従来に比べて省エネルギーとなった設備投資でも、老朽更新などほかに主目的がある場合は含めていません。